

# エコアクション21 環境経営レポート

(対象期間2023年 4月1日～2024年3月31日)

発行 2024年 5月 30日

改訂 2024年 6月 17日



株式会社 倉知製作所

## 目 次

1. 取り組みの対象組織・活動	2
1-1 組織の概要	2
1-2 認証・登録の対象組織・活動	2
2. 環境経営方針	3
3. EA21実施体制	4
4. 環境経営目標	5
5. 環境経営計画	6
6. 環境経営目標の実績	7
7. 環境経営計画の取組み結果と評価	8
8. 環境経営計画次年度の取組み内容	9
9. 環境関連法規制の遵守状況	10
8-1 当社に適用となる環境関連法規	10
8-2 違反、訴訟等	10
10. 代表者による全体の 評価と見直しの結果・指示	11

## 1. 取り組みの対象組織・活動

### □組織の概要

#### 1. 事業者名及び代表者氏名

株式会社 倉知製作所

代表取締役社長 倉知 宏行

#### 2. 所在地

・本社・工場 愛知県刈谷市西境町富士見8-1

#### 3. 環境管理責任者氏名及び担当連絡先

環境管理責任者:取締役 倉知 邦好

担当者: 顧問 成瀬 勝治

連絡先:電話 0566-36-5731

FAX 0566-36-6293

#### 4. 事業内容

自動車用燃料系部品の加工及びサブ組付、  
精密機能部品各種金属精密加工

#### 5. 事業規模

法人設立年月日:昭和27年9月7日

資本金:1000万円

製品売上高:15.30億円( '22年10月~'23年9月)

主要製品生産量:423.8万個

従業員数:58人(2023年5月1日現在)

総床面積:3628.03㎡

#### 工場名 床面積

本社、第一工場 1557.9 ㎡

第二工場 1566.32 ㎡

第三工場 503.81 ㎡

#### 6. EA21活動年度

'23年4月~'24年3月

### □認証・登録の対象組織・活動

対象組織 本社・工場

対象活動:事業内容と同じ

## 2.環境経営方針

株式会社 倉知製作所

### <環境理念>

当社は、金属部品の切削加工の事業活動において、地球環境保全が人類共通の重要課題であることを確認し、環境経営システムの構築及び運用することにより、自主的・積極的に、環境への取り組みを推進します。

### <行動指針>

- 1、環境関連法規則や当社が約束したその他の要求事項を遵守します。
- 2、次の事項について具体的な環境経営目標・環境経営計画を定め実施します。
  - 1.)省エネルギーに取り組み二酸化炭素の排出量を削減します。
  - 2.)分別の徹底・リサイクルの推進に努め廃棄物排出量を削減します。
  - 3.)節水に努め水使用量を削減します。
  - 4.)製造工程の改善を行い不良低減をします。
  - 5.)地域社会への貢献活動を積極的に行い、環境向上に努めます。
- 3、本方針を全社員に周知し、環境経営システムの継続的な改善を進めます。

制定日 2011年9月16日

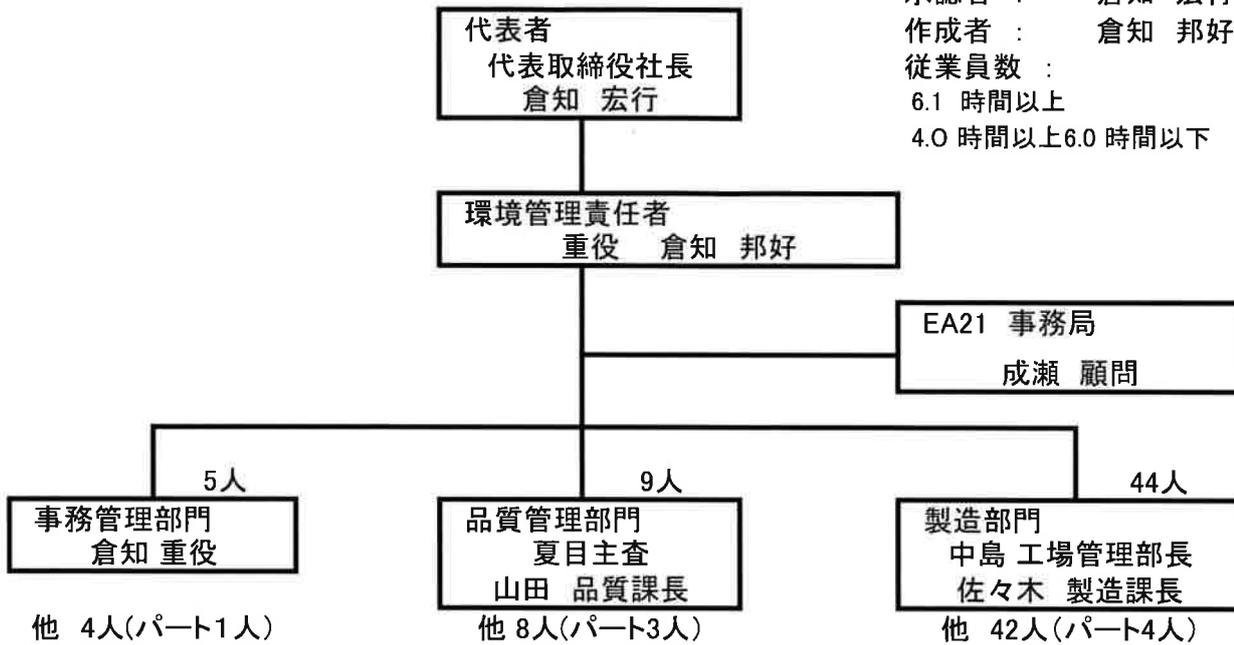
改定日 2018年8月20日

株式会社 倉知製作所

代表取締役社長 倉 知 宏 行

### 3. EA21 実施体制図

作成日 : 2023年 5月 10日  
 在籍日 : 2023年 5月 1日現在  
 承認者 : 倉知 宏行  
 作成者 : 倉知 邦好  
 従業員数 : 58名  
 6.1 時間以上 50名  
 4.0 時間以上6.0 時間以下 8名



#### 役割・責任・権限

役割	担当者	責任・権限
代表者	取締役社長 倉知 宏行	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営方針の作成・環境管理責任者の任命</li> <li>・実施体制を構築する</li> <li>・課題とチャンスを確認にする</li> <li>・資源の準備(人員・設備・費用等)</li> <li>・代表者による全体の評価・見直し・指示</li> <li>・環境経営レポートの承認</li> </ul>
環境管理責任者	重役 倉知邦好	<ul style="list-style-type: none"> <li>・代表者に代わり、環境経営システムを構築、運用、維持し、その状況を代表者に報告する。</li> <li>・環境経営目標・環境経営計画書の作成</li> </ul>
EA21事務局	顧問 成瀬 勝治	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境関連文書類の作成・管理</li> <li>・各種データの収集、管理環境経営レポートの作成</li> <li>・外部からの苦情等の受付・対応及び記録</li> </ul>
部門長	倉知 邦好 中島 裕二 夏目一弘 佐々木健一 山田隆	<ul style="list-style-type: none"> <li>・EA21取組実施、状況確認、記録記載</li> <li>・必要書類の事務局への提出</li> </ul>
全従業員	——	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営方針の理解と環境への取組みの重要性を自覚</li> <li>・決められたことを守り、積極的に環境経営活動へ参画</li> </ul>

## 4. 環境経営目標

作成者:成瀬 勝治 作成日:2021年8月30日  
 確認 2023年4月30日  
 環境管理者:倉知邦好 確認

環境経営目標は2020年度(2020年4月～2021年3月)を基準年度とした環境負荷の実績を  
 年度基準として目標を設定しました。

項目	取組み項目	基準年度	年度目標				
		2020年	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	
二酸化炭素排出量	* 二酸化炭素排出量の削減	704,755	703,345	701,231	697,707	694,184	
	(kg-CO <sub>2</sub> / 万個数)	2,124.0	(99.8%) 2119.8	(99.5%) 2113.4	(99%) 2102.8	(98.5%) 2092.1	
	エネルギー消費	電力使用量の削減	1,503,223	1,500,216	1,495,706	1,488,191	1,480,675
		(kwh / 万個数)	4,530.5	(99.8%) 4521.4	(99.5%) 4507.9	(99%) 4485.2	(98.5%) 4462.5
		ガソリン使用量の削減	4,031	4,022.9	4,010.8	3,990.9	3,970.5
		(ℓ / 万個数)	12.15	(99.8%) 12.13	(99.5%) 12.09	(99%) 12.03	(98.5%) 11.97
		軽油使用量の削減	6,087.0	6,074.8	6,056.7	6,026.1	5,995.7
		(ℓ / 万個数)	18.35	(99.8%) 18.31	(99.5%) 18.26	(99%) 18.17	(98.5%) 18.07
アセチレンガス		72	71.3	70.6	69.8	69.1	
(kg/万個数)	0.217	(99%) 0.215	(98%) 0.213	(97%) 0.210	(96%) 0.208		
廃棄物排出量	一般廃棄物排出量	185	184.1	183.2	182.2	181.3	
	(kg / 万個数)	0.558	(99.5%) 0.555	(99%) 0.552	(98.5%) 0.549	(98%) 0.547	
	廃プラ排出量削減	8,000	7,960	7,920	7,880	7,840	
	(ℓ / 万個数)	24.11	(99.5%) 23.99	(99%) 23.87	(98.5%) 23.75	(98%) 23.63	
	廃油(廃水油水)排出量の削減	28,200	28,059	27,718	27,777	27,636	
	(ℓ / 万個数)	84.99	(99.5%) 84.57	(99%) 84.14	(98.5%) 83.72	(98%) 83.29	
廃アルカリ(廃水)排出量削減	(kg / 万個数)	21400	21293	21186	21079	20972	
		64.50	(99.5%) 64.18	(99%) 63.86	(98.5%) 63.53	(98%) 63.21	
ガラス・陶磁器くず削減	(kg / 万個数)	1,150	1,144.3	1,138.5	1,132.8	1,127.0	
		3.47	(99.5%) 3.45	(99%) 3.44	(98.5%) 3.42	(98%) 3.40	
水量使用	* 水使用量の削減	1,677	1668.6	1660.2	1651.8	1643.4	
	(m <sup>3</sup> / 万個数)	5.05	(99.5%) 5.02	(99%) 5.00	(98.5%) 4.97	(98%) 4.95	
不適合	製造工程の不良低減	目標には異常値 除く基準	(98%)	(96%)	(94%)	(90%)	
	(EGRハウジング不良率%)	0.39%	0.38%	0.37%	0.36%	0.35%	
物化学	化学物質の適正管理 (灯油、シンナーなど)	適正管理	適正管理	適正管理	適正管理	適正管理	
貢社 献会	会社周辺の清掃 実施件数(回)	13回	13回	13回	13回	13回	

1. 二酸化炭素の排出量・廃棄物排出量・水使用量の目標値は総生産量万個数当りの排出量とする。  
 上段は総量 下段は原単位 2020年度生産 331.8万個数
2. 化学物質の使用は灯油内キシレン1%含有、少量洗浄使用。化学物質年間使用量報告書(SDS確認)
3. 電力二酸化炭素排出係数(調整係数) 中部電力2018年0.452kg-CO<sub>2</sub>/Kwh(中部電力より公表)
4. LPG使用量は少量(二酸化炭素排出割合0.01%)のため目標設定しない。
5. 灯油2019年度途中より暖房燃焼使用廃止(洗浄・検査のみ使用)為2020年より化学物質管理に移行する。

## 5. 環境経営計画

作成者: 成瀬勝治 2023年4月30日

2023年度(2023年 4月～2024年 3月)の環境経営活動計画

改訂 2019年6月29日 担当者追記

	環境経営活動項目	活動内容	担当部署
二酸化炭素	電力使用量の削減	1.新製品への対応時MC・洗浄機・付帯設備省エネ採用	全部署
		2.少量製品のMC設備組入れ化(人工・作り方効率化へ)	事務管理・倉知重役
		3.スポットクーラー200V化、遠赤ストーブ200V化へ継続	品質管理・夏目主査
		4.コンプレッサ必要設定圧把握改善(適正圧力確保)	・山田課長
		5.新工程・移動工程のLED局部化、水銀灯よりLED化推進	製造部門
		6.エアー漏れ低減(3点セット、配管部、エアーパーズ、エアーガン等)	・中島部長
		7.コンプレッサ高効率インバーターの稼働順位検討・標準化	・佐々木課長
	ガソリン使用量の削減	1.エコドライブの実施(急発進・急ブレーキ防止)、意識向上	事務管理・倉知重役
		2.アイドリングストップの徹底(3分以内)、意識向上	
		3.移動先に対して車種選定、最適ルート選定	
軽油使用量の削減	1.エコドライブの実施(急発進・急ブレーキ防止)、意識向上	事務管理・倉知重役	
	2.アイドリングストップの徹底(3分以内)、意識向上		
	3.輸送回数、運行頻度の見直し		
アセチレンガス使用量削減	・予熱時間の低減と連続稼働への展開及び盛金時の集中化 10年間分の10万本の生産実施	製造部門・中島部長・ 佐々木課長	
廃棄物	一般廃棄物削減	・廃棄物分別により削減及び資源化のレベルアップ	全部署 事務管理・倉知重役・品質管理・夏目主査 山田課長 製造部門・中島部長・佐々木課長
	廃プラの削減	1. 廃プラ分別削減、現物確認フォロー (リユース・リデュース・リサイクル区分)継続する	
		2. ビニール・発泡スチロール区分での資源化	
	廃油(油水、廃アルカリ)・ ガラス・陶磁器くず 削減  (廃油・油水・廃アルカリ・ガラス・ 陶磁器くず・スラッチ)	1. 油、液分別等(有価・廃却区分)	
2. スラッチ内の含有油の除去と高成分区分 3. 切削液切りのレベルアップ、改善推進			
水使用量	水使用量の削減	1.漏水点検漏れ防止 1回/月確認と情報収集早期対応 2. 通箱の汚れ防止と洗浄時の節水 3. 手洗い時の節水表示等によるレベル向上	
不適合品	製造工程不良低減	1. 品質目標設定改善活動(毎月品質会議報告フォロー) 2. 作業時ミーティング実施による意思疎通 3. 突発不具合発生時に対する原因解析改善 4. 過去の不具合に対する横展開の推進	製造部門・中島部長・佐々木課長
化学物質	化学物質の適正管理	1.灯油使用ストーブ全廃(洗浄専用のみ使用) 2.シンナー取扱い保存のMSD、入出庫管理 3.毒物及び劇物入出庫管理	製造部門・中島部長・佐々木課長
社会	社会貢献	1. 会社工場周辺、道路側溝清掃・除草と剪定地域苦情防止 2. 再生エネルギー発電装置の発電状況確認 3. 雨水の分離槽、排水路のつまり防止(1回/週的全網掃除) 4. SDGs(17項目)への活動(カーボンニュートラル推進)	全部署:事務管理・倉知重役・品質管理・夏目主査・山田課長 製造部・中島部長・佐々木課長

## 6. 環境経営目標の実績

作成者: 倉知邦好

2024年 4月 25日

管理責任者: 倉知邦好 確認: 2024年 5月 10日

実施期間1ヶ年(2023年 4月~2024年 3月)の実績を基準年度の実績と比較する。

上段は総量、下段は原単価

取組事項	取組み項目	基準値	目標	実績	達成率 (%)	評価	
		2020年度 (4月~3月)	2023年度 (4月~3月)	2023年度 (4月~3月)			
二酸化炭素 排出量	二酸化炭素排出量の削減*1	704,755	697,707	957,886.0	93.0	×	
	99.0% kg-CO2 / 万個数	2124.0	2102.8	2260.2			
	エネルギー 消費	電力使用量の削減	1,503,223	1,488,191	2,061,123	92.2	×
		(kwh / 万個数)99.0%	4,530.5	4,485.2	4,863.3		
		ガソリン使用量の削減	4,031	3,990.9	2,611.0	194.0	○
		(ℓ / 万個数)99.0%	12.15	12.03	6.2		
		軽油使用量の削減	6,087	6,026.1	5,588.0	137.7	○
(ℓ / 万個数)99.0%	18.35	18.17	13.2				
アセチレンガス	72	69.8	1701.1	5.4	×		
(kg / 万個数)97.0%	0.217	0.215	4.010				
廃棄物 排出量	一般廃棄物排出量	185	182.2	116	200.4	○	
	(kg / 万個数)98.5%	0.558	0.549	0.274			
	廃プラ排出量の削減	8,000	7,880	5,000	201.3	○	
	(ℓ / 万個数)98.5%	24.11	23.75	11.80			
	廃油(油水)排出量の削減	28,200	27,777	63,200	56.1	×	
	(ℓ / 万個数)98.5%	84.99	83.72	149.13			
廃アルカリ(廃水)排出量の削減	21,400	21,079	18,000	149.6	○		
(ℓ / 万個数)98.5%	64.50	63.53	42.47				
ガラス・陶磁器くず(スラッジ) の削減	1,150	1,132.8	940.0	154.1	○		
(kg / 万個数)98.5%	3.47	3.42	2.22				
水使用量	水使用量の削減	1,677	1,651.8	2,593	81.2	×	
	(m³ / 万個数)98.5%	5.05	4.97	6.12			
不適合品	製造工程不良低減 (EGRハウジン不良率%)	0.39%	0.36%	0.26%	138.5	○	
化学物質	灯油、シンナーのMSD管理 (使用量・保管量入出庫記録)	適正管理	適正管理	適正管理	-	○	
社会貢献	会社周辺の清掃 実施件数(回)	13回	13回	14回	107.6	○	
	太陽光発電によるCo2抑制	——	第2工場'13年9 月 第1工場'14 年6月	85.688 kwh 38.731kgCo2	——	——	

・ 二酸化炭素の排出量、廃棄物排出量、水使用量の目標値は総生産万個数当りの排出量

・ \*1 '18年度Co2排出調整係数中部電力公表0.452Kg-CO2/kwh採用:2023年度生産423.79万個数

・LPGガスは使用キッチンでの従業員お茶沸かしで使用量が0.01以下と少ない為、実績報告とする。

・灯油暖房燃焼用廃止で2020年度より化学物質管理に移行

目標達成率=目標÷実績

・評価:達成率 ○100%以上 △95%以上 ×95%未満

## 7. 環境経営計画の取組み結果とその評価

作成者:成瀬 勝治 2024年5月10日

環境管理者:倉知邦好 確認

### 環境経営活動計画の取組み結果と評価

◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取組活動内容		主な実施内容	評価
二酸化炭素	1.電力使用量の削減	1.新製品への対応時MC・洗浄機・付帯設備省エネ採用	○
		2.少量製品のMC設備組入れ化(人工・作り方効率化へ)	△
		3.スポットクーラー200V化、遠赤ストーブ200V化へ継続	◎
		4.コンプレッサー必要設定圧把握改善(適正圧力確保)	○
		5.新工程・移動工程のLED局部化、水銀灯よりLED化推進	○
		6.エアリーク低減(3点セット、配管部、エアージャケット、エアガン等)	△
		7.コンプレッサー高効率インバーターの稼働順位検討	○
	2.ガソリン使用量の削減	1.エコドライブの実施(急発進・急ブレーキ防止)、意識向上	○
		2.アイドリングストップの徹底(3分以内)、意識向上	○
		3.移動先に対して車種選定、最適ルート選定	◎
	3.軽油使用量の削減	1.エコドライブの実施(急発進・急ブレーキ防止)、意識向上	○
		2.アイドリングストップの徹底(3分以内)、意識向上	○
		3.輸送回数、運行頻度の見直し	◎
5.アセチレンガス使用量の削減	・予熱時間の低減と連続稼働への展開及び盛金時の集中化	◎	
廃棄物	一般廃棄物削減	・廃棄物分別により削減及び資源化のレベルアップ	◎
	廃プラの削減	1. 廃プラ分別削減、現物確認フォロー	○
		2. ビニール・発泡スチロール区分での資源化	○
	油水・廃油・ガラス・陶磁器削減	1. 油、液分別等(有価・廃却区分)	○
		2. スラッジ内の含有油の除去と高成分区分	○
		3. 切削液切りのレベルアップ改善推進	○
水使用量	水使用量の削減	1. 漏水点検漏れ防止 1回/月確認と情報収集早期対応	○
		2. 通箱の汚れ防止と洗浄時の節水	△
		3. 手洗い時の節水表示等によるレベル向上	○
不適合品	製造工程不良低減 (EGRハウジング不良低減)	1. 品質目標設定改善活動(毎月品質会議報告フォロー)	○
		2. 作業時ミーティング実施による意思疎通	○
		3. 突発不具合発生時に対する原因解析改善	△
		4. 過去の不具合に対する横展開推進	△
化学物質	化学物質の適正管理	1.灯油使用23/4~灯油ストーブ全廃止(製品洗い専用化)	◎
		2.シンナー取扱い保存のMSD、入出庫管理	◎
		3.毒物及び劇物入出庫管理	◎
社会貢献	社会貢献	1. 会社工場周辺、道路側溝清掃・除草と剪定地域苦情防止	○
		2. 再生エネルギー発電装置の発電状況確認	○
		3. 雨水の分離槽、排水路のつまり防止(1回/週的全網掃除)	○
		4. SDGs(17項目)への活動(カーボンニュートラル推進)	○

## 8. 環境経営計画次年度の取組み内容

作成者:倉知邦好 2024年 5月 23日

環境管理者:倉知邦好 確認

次年度取組活動		次年度活動計画内容	担当部署
二酸化炭素	1.電力使用量の削減	1.新製品への対応時MC・洗浄機・付帯設備省エネ推進 2.少量製品のMC設備組入れ化(人工・作り方効率化へ) 3.スポットクーラー200V化、遠赤ストーブ200V化へ継続(新規・更新時) 4.コンプレッサ必要設定圧把握改善(適正圧力確保) 5.新工程・移動工程のLED局部化、短時間使用蛍光灯のLED化 6.エアリーク低減(3点セット、配管部、エアーパージ、エアガン等) 7.コンプレッサの高効率稼働方法推進	全部署 事務管理・倉知重役 品質管理・夏目主査 ・山田課長 製造部門 ・中島部長 ・佐々木課長
	2.ガソリン使用量の削減	1.エコドライブの実施(急発進・急ブレーキ防止)維持向上 2.アイドリングストップの徹底(3分以内)維持向上 3.行動時の車種選定(時間帯考慮)	事務管理・倉知重役
	3.軽油使用量の削減	1.エコドライブの実施(急発進・急ブレーキ防止)維持向上 2.アイドリングストップの徹底(3分以内)維持向上 3.輸送回数の見直し(時間帯考慮)	事務管理・倉知重役
廃棄物	1.一般廃棄物削減	・廃棄物分別により削減及び資源化	全部署
	2.廃プラの削減	1. 廃プラ分別削減、現物確認フォロー 2. ビニール・発泡スチロール区分での資源化	事務管理・倉知重役 品質管理・夏目主査 ・山田課長
	3.廃水(油水・廃アルカリ)(砥石・陶磁器・ガラスくず)削減	1. 廃水交換前での水補給の計画的推進 2. 油、液分別等(有価・廃却区分) 3. スラッジ内の含有油の除去と高成分区分 4. 切削液切りのレベルアップ維持改善推進	製造部門 ・中島部長・佐々木課長
水量使用	水使用量の削減	1.漏水点検漏れ防止 1回/月確認と情報収集早期対応 2. 手洗い時の節水表示等によるレベル向上	
不適合品	製造工程不良低減 (EGRハウジング不良低減)	1. 品質目標設定改善活動(毎月品質会議報告フォロー) 2. 作業時ミーティング実施による意思疎通 3. 突発不具合発生時に対する原因解析改善 4. 過去の不具合に対する横展開の推進とフォロー	製造部門 中島部長・佐々木課長 品質管理・夏目主査 山田課長
化学物質	化学物質の適正管理	1.シンナー取扱い保存のMSD、入出庫管理 2.毒物及び劇物入出庫管理	中島部長・佐々木課長
社会	社会貢献	1. 会社工場周辺、道路側溝清掃・除草と剪定地域苦情防止 2. 再生エネルギー発電装置の発電状況確認 3. 雨水の分離槽、排水路のつまり防止 4. SDGs(17項目)への活動(カーボンニュートラル推進)	全部署 ・事務管理・倉知重役 ・品質管理・夏目主査 ・山田課長 ・製造部・中島部長 ・佐々木課長

## 10. 代表者による全体の評価と見直し・指示

EA21の環境活動も12年の月日が経過しました。  
本年度は月始まりの朝の月礼にて環境に対する意識の向上し  
EA21の活動を継続的に維持している状況です

しかし、昨今、外部の要因により、いろいろと停滞することも  
発生しておりますが地道な活動を通じて全社員が各自が考えて  
ムリ・ムラ・ムダをなくし状況に合った活動を推進していきます。

更に、カーボンニュートラル活動も年々加速している状況  
にあり、CO2低減を進め得意先の要望に応じていきます。

### 代表者(社長)による見直し・指示

1. 環境経営方針	現状の環境経営方針で進める
2. 環境経営目標	'24年度について、'23年度の活動実績を解析し中期計画目標で活動する カーボンニュートラル活動にも関連した目標を設定し推進する
3. 環境経営計画	'23年度中期計画目標達成させる為活動計画に従って推進する カーボンニュートラル活動にも関連した目標に沿った環境経営計画を立案し推進する
4. 環境経営システム 及び実施体制	EA21環境経営システムの継続運用させる
5. 社会・取引先・ 法規への対応	外部からの要請・苦情もないことから現状の対応とし法規を遵守する (法規については、1回/年の最新把握し運用を実施する)

2024年 5月26日

株式会社 倉知製作所

代表取締役 倉知 宏行